

## 主な自由意見

皆様からは全体で482件のご意見をいただき、バスに対する関心が非常に高いことがわかりました。

### <比較的多くいただいたご意見> (順不同)

- ・平日昼間の時間帯が時間あたり3本(20分間隔)だが、4本(15分間隔)にしてほしい。
- ・JRの駅(東戸塚、戸塚、保土ヶ谷など)まで直通便を開設してほしい。
- ・戸塚方面に行くには大池で乗り換えるが、乗継割引のサービスをしてほしい。
- ・横浜駅や関内方面の直通便を開設してほしい。
- ・市営地下鉄の時田駅の近くまで伸ばしてほしい。
- ・日曜日の最終バスを22時以降にしてほしい。
- ・井土ヶ谷バス停がなくなり鶴巻バス停を利用しているが、井土ヶ谷駅から遠く不便なのでバス停の位置を以前の場所に戻してほしい。
- ・距離が短いのに運賃210円は高いのでもう少し安くしてほしい。
- ・バス停に屋根とベンチを設置してほしい。
- ・時間どおりに来ないことがある。遅延理由を車内アナウンスしてほしい。
- ・運転が乱暴、あと数秒待ってくれれば乗れたのに出発することがある。
- ・乗務員の接客態度がよい。いつも助かっています。など感謝の声。

## まとめ

- ・今回、市内ではじめて、**市民の皆様、交通事業者、行政の3者が連携**して、モビリティマネジメントの取組を実施いたしました。
- ・このアンケートでは、回答率が高く多くの自由意見が寄せられ、**バスに対する関心が高いことがわかりました。市民の皆様のバスサービスに対する多くのご意見を把握でき大変有意義な取組となりました。**
- ・この取組を、今後の交通施策やバスサービスに活かしてまいります。

### ▶横浜市

バスサービスの維持のためには、皆様にご利用いただくことが非常に重要です。クルマ利用に比べ、環境負荷の軽減、健康増進などにもつながります。今後とも積極的なバス利用をよろしくお願いします。

### ▶神奈川中央交通

いただいたご意見すべてに具体的に対応していくことは難しいですが、今後のバスサービスのための貴重なご意見として大切にしていきます。地域の皆様に信頼される企業を目指して努力してまいります。

## 回覧

## 永田みなみ台地区

## バス利用促進モビリティマネジメント実施結果について

昨年12月から今年の1月にかけて、みなさんがお住まいの永田みなみ台地区において、「モビリティマネジメント」を、市内で初めて実施いたしました。

この取組は、市民のみなさん、交通事業者、行政の3者が連携し、**バスの利用について考える「きっかけづくり」を目指した新たな取組**です。

今回の取組では、大変多くの方々に、2度にわたるアンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。

この度、アンケート等の結果がまとまりましたので、簡単ではありますが、みなさまにご報告いたします。

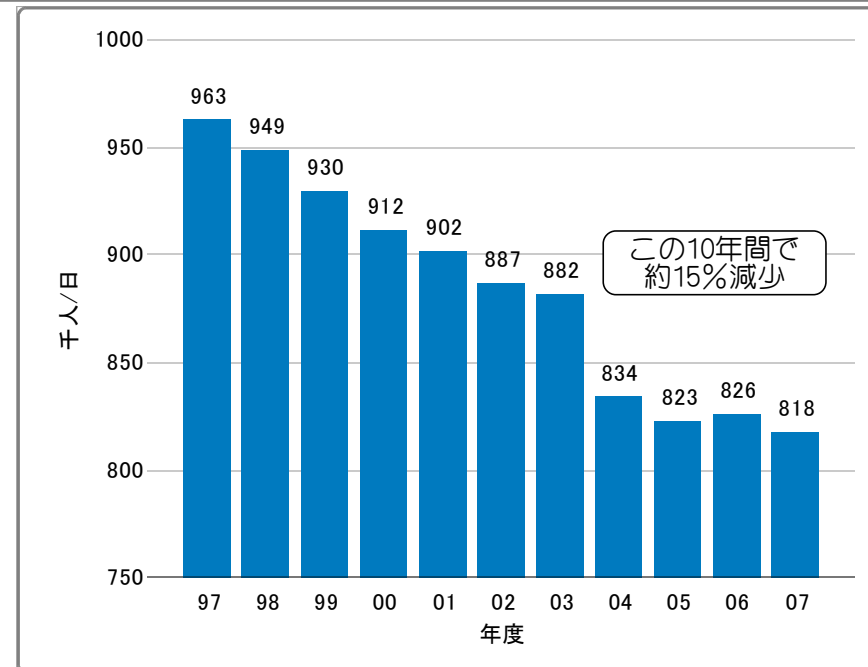
横浜市都市整備局・道路局  
神奈川中央交通株式会社

※モビリティマネジメントとは、過度にマイカーに頼る生活から、徒歩や公共交通などを含めた多様な交通手段を適度に利用する生活へと、できることから少しずつ変えていくためのコミュニケーションを中心とした交通施策です。

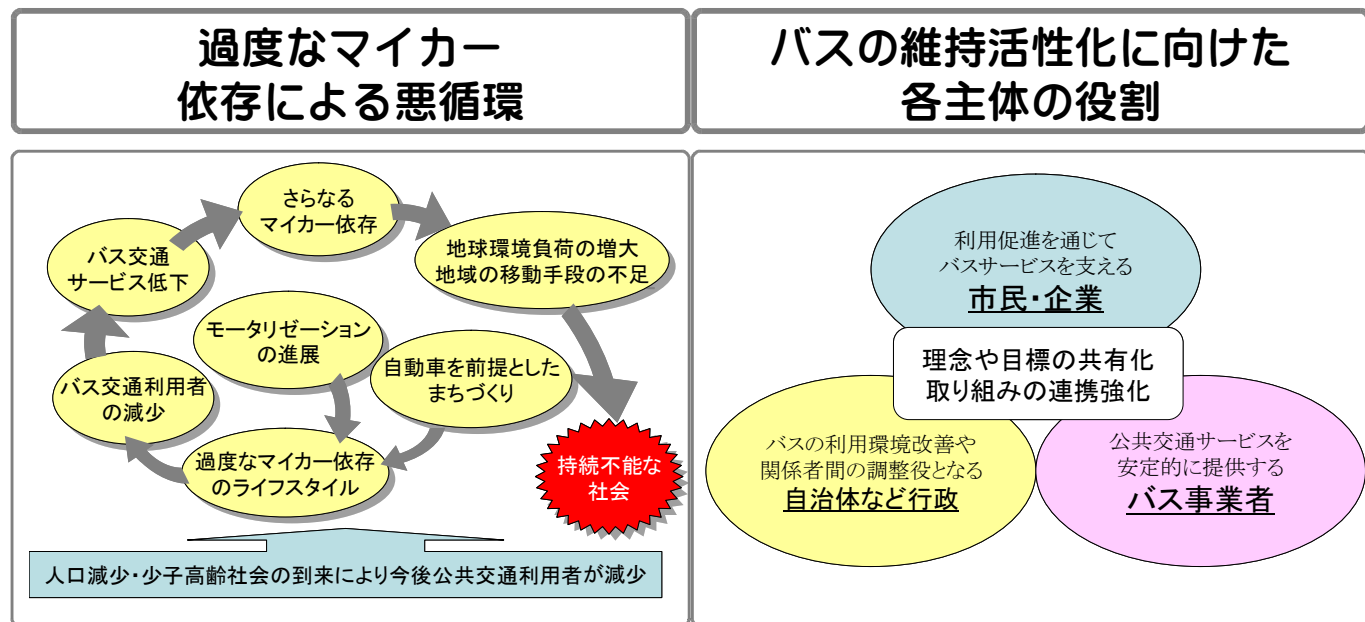
### 【この取組に関するお問い合わせ】

横浜市都市整備局都市交通課 松井・佐々井 671-4128

## 市内バス乗車人員の推移



市民生活を支える最も身近な公共交通である路線バスは、利用者が年々減少し、ますます厳しい経営環境になっていくと考えられます。



過度なマイカー利用により、このままバス利用者が減り続ければ、バスのサービスが維持できなくなるかもしれません。

普段から積極的にバスを利用してもらうことが、路線バスの維持には重要です。

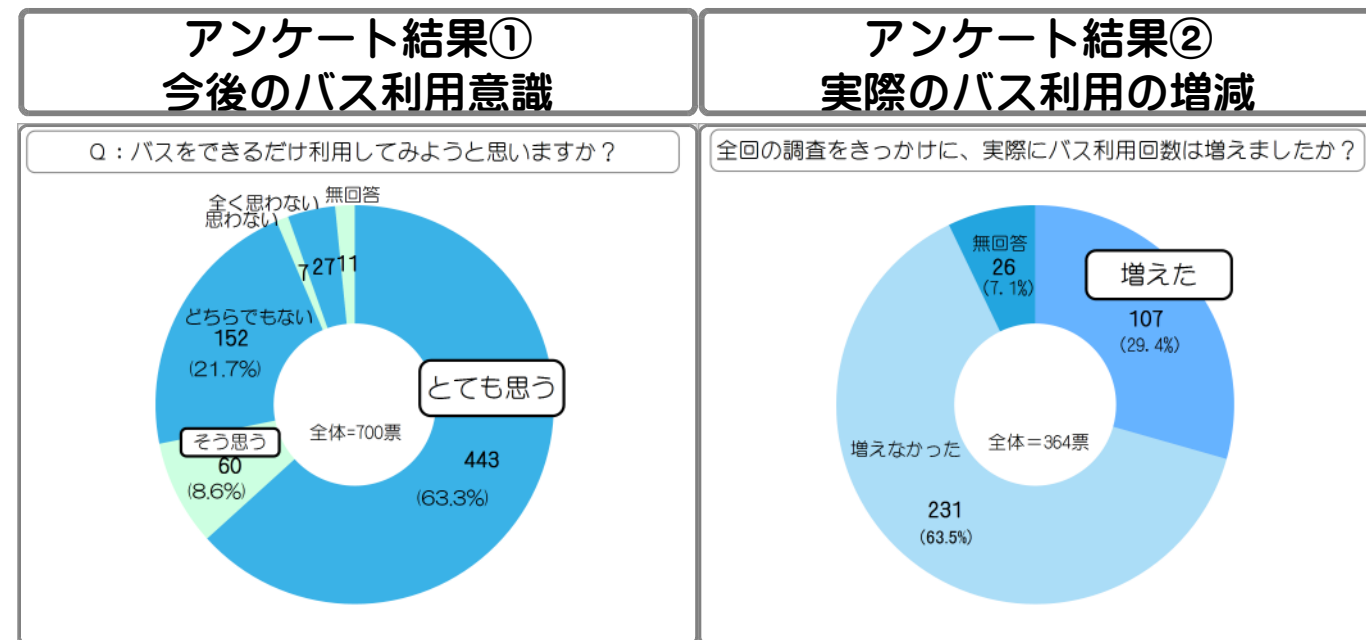
## 今回の取組概要

①バス利用者数調査【事前】  
(団地内バス停にて平日・休日調査、11月29日(日)・12月1日(火))

②資料配付【一回目】(12月4日配布)  
○配布数：2,410世帯 ○回収数：700世帯 ○回収率：30.0%  
○配布物・バス利用啓発資料 ・時刻表つきバスマップ  
・ご自身の交通行動を振り返るきっかけとなるアンケート (一次)

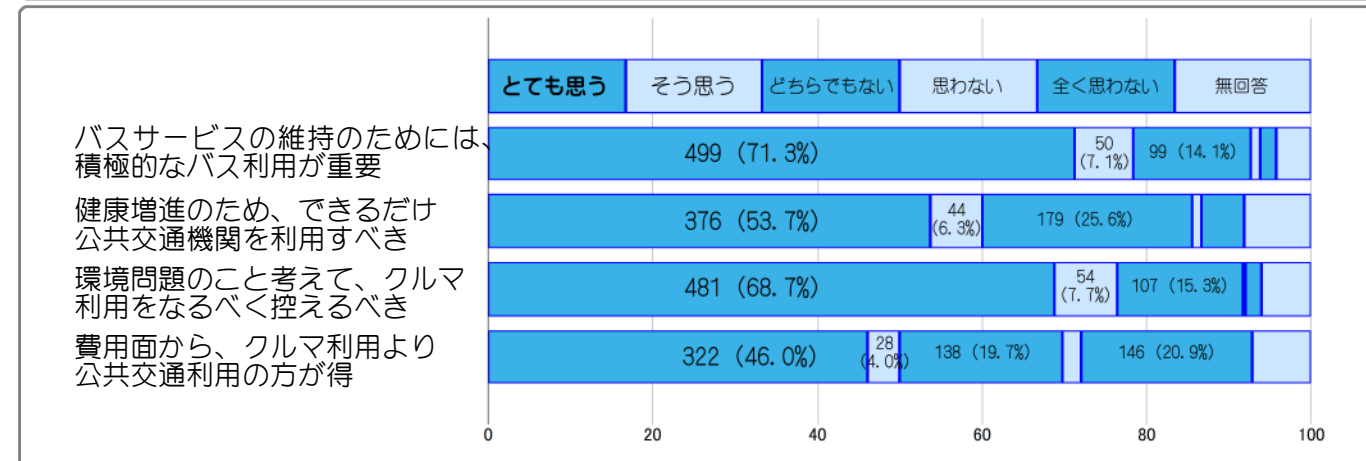
③バス利用者数調査【事後】  
(団地内バス停にて平日・休日調査、12月13日(日)・12月15日(火))

④資料配付【二回目】(1月27日発送)  
○配布数：454世帯 ○回収数：364世帯 ○回収率：80.2%  
○配布物・バス利用促進に関する二次アンケート  
・交通コラム「かしこいクルマの使い方」(京都大学 藤井教授)



回答者の約7割の方が「バスをできるだけ利用してみよう」と思ったことがわかりました。また、約3割の方が「バスの利用回数が増加した」と回答しました。

## アンケート結果③ 交通に関する意識



## バス利用者数調査結果

・資料配付(一回目)の事前・事後に、バス利用者数を各停留所でカウント調査



資料配付の前後で、バス利用者が100人程度(約4%、平日)増えました。